

無加温ハウスで作る花き新品目 ～スターチスと同じ条件で栽培できる新品目を探す～

1. はじめに

和歌山県における平成29年度のスターチス栽培面積は約73haであり、平成17年度の42haと比べると12年間で31ha増加し、出荷本数も4,200万本（H17）から6,200万本（H29）に増加しています。加えて、平成19年からの燃料価格の高騰を受けて無加温ハウスの面積も増加しています。無加温では気象条件の影響を受けやすく、天候が悪いと年末や春の彼岸の需要期から開花が外れた時期に出荷が集中することもあります。出荷本数の増加に加え、需要期以外の時期への出荷集中などにより価格の安定が難しくなっています。そこで、暖地園芸センターでは、スターチスの無加温栽培と同じ条件で栽培できる新規品目の探索を行っていますが、今回は第一報としてハイブリッドリモニウムについて紹介します。

2. 試験方法

「ハイブリッドリモニウム」(*L. perezii* × *L. sinuatum*)【ムラカミシード株式会社】(以下「シンジー」)の‘シンジーシルバー’ (以下‘シルバー’)、‘シンジーディープラベンダー’ (以下‘ディープラベンダー’)、‘シンジーラベンダー’ (以下‘ラベンダー’)の3品種は2016年9月7日に、「シネンシス系ハイブリッドスターチス」‘キノルージュ’【福花園種苗】は2016年9月13日に定植しました。栽培ハウスはビニルハウスでうね幅100cm、条間40cm、株間20cmの2条植えで冬期無加温としました。施肥は基肥に有機配合(N:P₂O₅:K₂O=6:8:7)を75kg/10a、エコロング413 140日タイプ(N:P₂O₅:K₂O=14:11:13)を32kg/10aを施用し、追肥は行いませんでした。

3. 試験結果

「シンジー」は2月から開花が始まり、4月末までの1株当たりの収穫本数は、‘シルバー’ 22.9本、‘ディープラベンダー’ 17.4本、‘ラベンダー’ 10.4本となり、‘シルバー’は収穫本数が多い品種でした。一方、シネンシス系の‘キノルージュ’は9.2本で、収穫してから次の花が抽苔してくるので2月に収穫した株は5月に収穫できました。

表1 1株当たりの月別収穫本数 (本/株)

品種名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計	5月(参考)
シンジーディープラベンダー	0.1	1.2	0.2	2.6	3.1	10.3	17.4	—
シンジーシルバー	0.0	0.2	0.6	3.1	3.9	15.2	22.9	11.5
シンジーラベンダー	0.0	0.1	0.3	0.4	1.4	8.1	10.4	—
キノルージュ	0.0	0.1	0.0	6.3	1.3	1.6	9.2	13.1

定植日：2016年9月7日（シンジー）、9月13日（‘キノルージュ’）

収穫本数：切り花長60cm以上の株当たり切り花本数

調査日：開花開始日～2017年4月30日（‘シンジーシルバー’、‘キノルージュ’については5月28日）

切り花品質について、‘ディー
プラベンダー’は切り花長も長く、切り花重も重くボリューム
も有り、茎径は他の品種と同程
度ですが、花茎の翼が大きく、
樹勢の強いスターチス・シヌ
アータに似た草姿をしています
(表2、図1)。

‘シルバー’は他の2品種より
切り花長は短いですが、70cm
以上の切り花が90%以上ありま
した。花色もがくの付け根が濃
いピンクでがくは白と普通のス
ターチスには無い色をしていま
す(図2)。葉の形は小さく丸い
形で開帳性が強く、他の2品種
とは異なりました。

‘キノルージュ’はカ
スミソウのような草姿
をしています。‘キノル
ージュ’と‘シルバー’
は、これまでのスター
チス・シヌアータとは
違う使い方ができる可
能性があると考えられ
ます。

表2 ハイブリッドリモニウムの切り花特性

品種名	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	茎径 (mm)
シンジーディープラベンダー	97.7	126.6	10.1
シンジーシルバー	84.9	46.1	11.1
シンジーラベンダー	91.2	91.0	11.1
キノルージュ	100.5	61.6	5.8

調査日：開花開始日～2017年4月30日

全収量の平均値を記載、茎径：軸の太さ、翼は含まない



‘ディープラベンダー’ ‘シルバー’ ‘ラベンダー’
図1 ハイブリッドリモニウム「シンジー」の切り花



図2 ‘シルバー’の花房



図3 ハイブリッドリモニウムの葉型
左：‘シルバー’、右：‘ディープラベンダー’

4. まとめ

以上のことから、「シンジー」、「キノルージュ」は無加温ビニ
ルハウスでの栽培が可能でした。苗の価格が普通のスターチス
より高いですが、植えたままで2回以上収穫できれば1作あたり
普通の苗代と同程度で省力化にもなります。植えたままの場合、
開花時期は今回の購入苗より遅くなると思われるので、‘シル
バー’と‘キノルージュ’については、植え替えをしない複
数年栽培の試験を続けています。加えて、他の品目についても
同じ条件で試験を行っていますので、今後、随時、報告してい
きたいと思います。

(園芸部 花田 裕美)



図4 ‘キノルージュ’